

WINTER SLEEPERS

「ラン・ローラ・ラン」のトム・ティクヴァ監督作品

ロモカメラの記憶、アルファロメオの衝突、アイスリンクの恋、そして少女の運命

ウィンタースリーパー

DIRECTOR : TOM TYKWER

CAST : FLORIANE DANIE, HEINO FERCH

ULRICH MATTHES, MARIE-LOU SELLEM



WINTER SLEEPERS

ウィンタースリーパー

ウィンタースリーパー / 1997年 / ドイツ映画 / 122分 / 配給：N.S.W. / 協力：ロモジャパン
監督・脚本・音楽 / トム・ティクヴァ 音楽 / ジョニー・クメリック、ラインホルト・ハイル
出演 / フロリアン・ダニエル、ハイノ・フェルヒ、ウルリッヒ・マティス



方程式のような運命の行方？

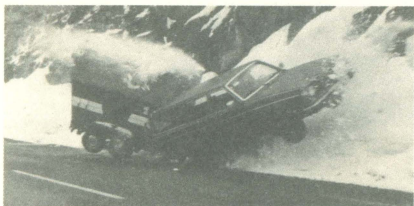
RPG（ロールプレイングゲーム）のように絡み合う“黒い男・緑の女・青い男・赤い女・白い少女”の人間色模様。わずかな記憶とタイムラグはありふれた狂気となり、いたずらに運命を変えてゆく・・・

きのうの記憶がありますか？

舞台はローラとレベッカの暮らす雪深い山村。レベッカのボーイ・フレンド、マルコの車を、記憶障害をもつ（ロモカメラで撮った写真を頼りに生活する）ルネが盗み、山道で事故を起こしてしまったことから、運命のボタンの掛け違いがはじまる・・・雪に眠る少女の運命は・・・

ドイツの新鋭「ラン・ローラ・ラン」のトム・ティクヴァ監督の原点に迫る！

原点回帰！ルーツ・オブ・“ラン・ローラ・ラン”！ドイツの新鋭トム・ティクヴァ監督作品第2作がいに待望の劇場公開！各国のプレスから熱狂的な賛辞を浴びた本作は、昨年全米でも公開されBOX OFFICEにチャート・イン！次作「ラン・ローラ・ラン」の大ヒットを受けて、リュック・ベッソンらにつづき、トム・ティクヴァは一躍、ハリウッドからも注目を集める存在となった（最新作「HEAVEN」[THE PRINCESS AND THE WARRIOR] 2001年・全米公開・日本公開予定）。トム・ティクヴァ監督作ならではの、フィルターの効いたインダストリアルなテクノのピッチ、クールでスタイリッシュな映像美！ジャーマン・ポップ・シネマ・ムーブメントの傑作！「ウィンタースリーパー」！



やはり、トム・ティクヴァはタダモノじゃなかった！

きれい響 Hibiki Kurei (ライター)



「やはり、トム・ティクヴァ（監督）はタダモノじゃなかった！」。今作『ウィンタースリーパー』を観れば、誰もがそう感じるだろう。確かに次回作にあたる20分勝負・3ラウンドこと、「ラン・ローラ・ラン」は傑作だ。しかし、ジャーマンのテクノおたくがエクスタシーを食いながら一気に撮ったと思えば、それはそれで納得いかないワケでもない。一方、今作はホワイト・ノワールである事実が驚かされる。白銀世界で起こる（起きてしまった）人間たちの悲喜劇。古くはデヴィッド・クローネンバーグの『デッドゾーン』、近年ではコーエン兄弟の『ファゴ』やサム・ライミの『シンブル・プラン』があるが、特筆すべきは前出の監督がベテランの域に達してホワイト・ノワールに挑んだのに対し、ティクヴァはデビュー2作目でこの難題に挑んだ点である。それもオレたちが彼を認知しないうちに！アイスリンクの滑走シーンにみられる、ときに美しく、ときに豪快なカメラワーク。そして、徹底した人物描写。これでローラが通りすぎた人々の未来像は、偶然の産物でなかったということがわかるだろう。

しかし、これでは今作の楽しみ方は半分にしかなかった。そこで映画館支配人の過去を持つティクヴァらしい、さまざまな監督に対するリスクベクトルに注目したい。まず、パズルのピースを組み合わせるような構成は『スウィート・ヒア・アフター』のATOM・エゴヤンを。マルコが離れる寂しさから自慰行為に及ぶ赤い女レベッカはウォン・カーウアイの『天使の涙』を。また、そんな意図的な配色はピーター・グリーナウェイの『コックと泥棒、その妻と愛人』を連想させる。また、ハリウッド進出作『Heaven』は、なんとキェシロフスキの遺稿である。マニアがリスベクト対象と組む出世コースは、タランティーノと同種かもしれない。でも、今作を観るかぎり、ティクヴァはタラちゃんより断然いいヤツだと思う。友達にはなれそうだけど（笑）。

…ほろにが

渋谷直角 Chokkaku Shibuya (リラックス)



コレがミステリーなのかサスペンスなのかは全然わかりませんが、『ウィンタースリーパー』は、不思議な余韻を残す映像美と、生ガキの後味みたいな気持ちにさせられる映画です。ちょっとしたミスが重なり、偶然の出会いと“うっかりカンチガイ”が絡み合った人間関係の不思議さ。幸せはドライに描かれ、不幸せは非常にウェット。そして不幸のリングが絡み合って転がり落ちるラストには、思わず「…ほろにが」（鉄矢の顔マネで）と呟いてしまいましたよ。

ロモの故郷を連想させる

田部井美奈 Mina Tabel (ロモジャパン)



はじめてほんの少しのところでロモカメラとともに登場する主人公ルネ。彼は日々をロモで記録するためロモカメラとともに生活している。ファインダーを見ずにまるで呼吸するかの様に自然にシャッターボタンを押していく。その度に関こえるカタツという重たい手ごたえのあるシャッター音はすこし気持ちがいい。ロモの故郷を連想させる曇ったヨーロッパ=冬のドイツを舞台にゆっくりと静かに運命の風船が破裂していく様子は最後まで目をはなすことができない。

3月24日(土)より雪降る夜のレイトロードショー

特別鑑賞券 ¥1500 絶賛発売中
(当日：一般 ¥1800 / 学生 ¥1500)

*劇場窓口のみ「ウィンタースリーパー」オリジナルポストカード付き *連日PM9:10より上映(4月19日(木)休映)
*劇場窓口他にPAT detective デザインによるオリジナルT-SHIRTS付きチケット(税込¥3800)発売中！
*公開記念イベント・フォト・エキシビジョン3月中旬よりロモジャパンホームページ、IVY、シネアミューズにて開催予定！
(詳しくはロモ・ジャパンHP：<http://www.lomojapan.com>及びウィンタースリーパー公式HP：<http://homepage2.nifty.com/wintersleeper/>にて)

*ロモカメラ割引特典！公開期間中、ロモカメラ（本体）を持ってご来店の方は劇場窓口にて¥200（一般のみ）割引致します。

シネ・アミューズ
CINE AMUSE
EAST & WEST

渋谷文化村通り東急本店前フォンテビル4F TEL.03-3496-2888